

広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

9 月号

No.197 (R5.9.14)



もくじ

行事報告

第 63 回 広島市学校保健大会	1
原爆死没者慰霊祭	1
第 3 回 支部長・副支部長会議	2

支部だより

中区支部	3
南区支部	3
西区支部	4

ちよっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	5
漏洩ゼロをめざすラバーダム防湿パーフェクトテクニックを読んで(学術部)	6
スポーツ観戦のすゝめ(厚生部)	6
～ハハ姉妹の学校ニュース《5 時間目》「カミング 30 (カミング 歯・が・い～・ぜ)」～(地域歯科保健部)	7

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より -こんな医療トラブルが起っています-(総務部)	8
令和 5 年度 広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議(地域歯科保健部)	8
今月の知っておきたいこと(広報部)	9
YouTube(広報部)	11
FM ちゅーピー(広報部)	11
LINE 公式アカウント 友達募集	11
会長コラム『笑門來福』笑顔	12

会員ひろば

新入会員紹介	13
8 月定例理事会報告	14

行事報告

第 63 回 広島市学校保健大会

日時：8月3日(木)午後2時15分

場所：「JMS アステールプラザ」

標記の会が「生涯にわたって健康で安全に生きぬく子どもの育成」をテーマに、広島市学校保健会、広島市教育委員会の主催、広島市 PTA 協議会の後援で開催された。本大会は、新型コロナウイルス感染症の流行の始まった令和2年より、2回の中止と規模を縮小し開催した前回を経て、4 大会ぶりにフルスペックでの開催となった。

はじめに開会行事として山本匡広島市学校保健会会長の挨拶があり、能美和基本会副会長が祝辞を述べた。続いて表彰式が行われた。本会関係では、石川潔氏・谷巖範氏が広島市学校保健功労者表彰を、波田佳範氏が永年勤務の学校歯科医として感謝状を受けた。学校保健研究

物表彰においては細原賢一理事が審査報告を行った。さらに、よい歯の学校表彰、よい歯の健康大賞の表彰等も執り行われた。

続いて分科会として、歯科の分科会である、第 60 回「よい歯の集い」が開催された。瓜生賢本会会長の挨拶に続いて、「子どもたちの歯の健康のために」という演題で、野村良太広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学教授による講話が行われた。その後、よい歯の児童表彰式が行われ、各学校の代表の児童一人ずつに瓜生会長から賞状が手渡された。最後に若林大輔本会副会長の閉会の辞をもって、日程を終了した。



(左) 挨拶をする瓜生賢会長



(右) 大会の参加者

原爆死没者慰霊祭

日時：8月6日(日)午前8時

場所：県歯会館「原爆慰霊碑前」

晴天のもと、78 回目の広島原爆の日を迎えた。昭和42年に原爆慰霊碑が建立され、「広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭」は今年度で57 回目を迎えた。

原爆慰霊碑「原爆の碑」前に祭壇を設け、今年は27名の参列者が集い、森本慎樹専務理事の司会のもと、広島東照宮の斎主によりしめやかに慰霊祭が執り行われた。

瓜生賢本会会長、熊谷宏県歯会会長代理、遺族代表の野坂寛氏による玉串拝礼の後、原爆投下時刻の午前8時15分に本会関係者51名の死没者に対し、黙祷を捧げ、冥福を祈った。



挨拶をする瓜生賢会長

第3回 支部長・副支部長会議

日時：8月8日(火)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

標記の会が開催された。執行部から瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事が出席した。

始めに瓜生会長より「執行部が変わって初めての支部長副支部長会議です。支部長・副支部長も新しい先生方が就任された支部もございますので慣れない部分もあるかと思いますが、活発な議論をして意見交換をしていただくとともに円滑な支部運営をしていただきたいと思います。本日も慎重審議のほどよろしく願いいたします」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 6月21日 第2回支部長・副支部長会
- 6月23日 中区地域保健対策協議会
- 6月24日 第116回定時総会
- 6月30日 幟町圏域多職種連携会議
- 7月7日 新入会希望面談
- 7月14日 吉島圏域多職種連携会議
- 7月19日 第40回健康ソフトボール大会代表者会議
- 7月22日 中区支部夏季懇親会
- 7月27日 ソフトボール練習
(西区スポーツセンター)
- 7月28日 新入会希望面談
- 7月29日 第166回国保組合会、第67回互助会総代会

東区支部

- 6月21日 第2回支部長・副支部長会
- 6月23日 第1回地域健康対策協議会介護連携推進委員会
- // 第1回地域健康対策協議会常任理事会
- 6月24日 第116回定時総会
- 7月6日 二葉圏域医療と介護・地域の多職種連携会議
- 7月12日 新入会希望面談
- 7月29日 第166回国保組合会、第67回互助会総代会

南区支部

- 6月21日 第2回支部長・副支部長会
- 6月24日 第116回定時総会
- 6月29日 南区支部総会
- 7月29日 第166回国保組合会、第67回互助会総代会
- 8月7日 南区地域保健対策協議会

西区支部

- 6月21日 第2回支部長・副支部長会
- 6月22日 西区支部例会
- 6月24日 第116回定時総会
- 7月13日 観音圏域「観音認知症応援団」
- 7月27日 中広圏域医療と介護の多職種連携研修会
- 7月29日 第166回国保組合会、第67回互助会総代会
- 7月31日 豊田眞一先生閉院

執行部

- ・マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合について

協 議

①中 区

- ・スタッフの最低賃金について
- ・第40回健康ソフトボール大会

支部だより

中区支部

令和5年 中区支部ソフトボール練習

日時：7月27日(木)午後7時30分

場所：「西区スポーツセンター」

令和5年に入ってから第1回目のソフトボールの練習が行われた。

まず始めに、参加者メンバーでボールの感覚を確かめながらのキャッチボールを行って、運動不足の身体を解していったのであった。ほぼ予定していた参加者が集合したところで、波田佳範支部長より「新型コロナ感染により、4年間中止を余儀なくされました。その間各郡市会のソフトボール大会に対する考えに温度差が見いだされるようになり、参加チームが激減し、われわれ中区支部は事情により、Aクラスに組み込まれました。しっかり練習してケガをしないように頑張ってください」と檄が飛ばされた。

守備練習を兼ねたフリーバッティング、ミニゲームを行い、その日の練習を終了した。

練習には、波田佳範支部長、平田誠副支部長とご子息、有田竜二氏、香川次郎氏、地守宏紀氏、橋本佳子氏、花岡宏一氏とご子息、花木清隆氏、前野大輔氏とご子息、吉岡英将氏、若林大輔氏が参加した。



練習の様子

南区支部

広島市段原地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：7月21日(金)午後2時30分

場所：「東雲三丁目集会所」

標記の行事が開催され、平井由美氏が「しっかり食べて元気で長生き」と題して、東雲三丁目東寿会会員21名に講演を行った。講演では、人生100年時代を健康に生きるために口腔ケアが重要であることを説明した。

まず、フレイルの概念を解説し、健康寿命を延ばすには口の機能を維持することが大切であり、そのためにはセルフケアと定期検診が欠かせないことを説明した。セルフケアにはブラッシングなどによる口腔衛生だけでなく、舌を含めた口周りの筋トレも必要であり、お口の体操やペコぱんだによる訓練、パタカラ運動などを紹介した。

会員は平素よりいきいき100歳体操をしており、健康意識が高く、質疑応答も活発なものであった。今後も本会を通じて地域活動を続けていく所存である。



講演の様子

中広圏域 医療と介護の多職種連携研修会

「認知症についての理解を深める」～在宅生活を支える皆さんの取り組みを知ろう！～

日時：7月27日(木)午後6時30分

場所：西区民文化センター 「大会議室」

標記の会が、中広地域包括支援センター主催により医療関係者・介護関係事業所・障害福祉関係事業所・民生委員・民生委員協力員・高齢者を支援されている地域の方々・行政など90名を超える参加者により開催された。

炭田知宣炭田内科胃腸科病院院長の開会挨拶の後、井門ゆかり脳神経内科クリニック、井門ゆかり院長により「認知症の早期発見と対応～ICIS(井門式簡易認知機能スクリーニング検査)の活用法」と題した講義が行われた。認知症の基礎知識を身に付け、軽度のうちに認知症に気づき受診・治療につなげることが大切である。海馬の萎縮がないタイプの認知症は気づかれにくいのでスクリーニング検査が重要である。ICISはMMSE(ミニメンタルステート検査)や長谷川式認知症スケールよりも簡便にできるので活用してほしいなどの話があり、早期発見が重要であることが理解できた。

講演後、「皆さんの認知症ケアの強みを共有しましょう」というテーマで①認知症の方と接する中で皆さんが行ってきた支援や工夫、配慮など。②認知症の方が地域で安心して暮らすために必要なことは何か。をグループワークとして話し合った。

井門院長からグループワークのまとめの中で「認知症の方と接するとき、なるべく否定しないことが大切である。また、徘徊は重度になってからするのではなく、軽度の認知症(MCI)レベルでもするのでいつでもあれ心の準備が必要である。発見するのに時間がかかると命にかか

わることがあるので、いないと思ったらすぐに警察に連絡したほうが良い。」という話があった。

新田哲也(新田小児科医院院長)西区医師会理事の総評の中で「認知症の早期発見がなされるかどうかによりQOLが変わるので、簡便にできるICISの活用により早期発見につなげてほしい。」との話があった。(ICIS検査用紙は<http://imonclinic.com>からダウンロード可)

行廣律江広島市西区厚生部地域支えあい課地域支援担当課長より、「西区では認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくり、共生社会の実現を目指している。認知症サポーター養成講座や認知症カフェの設置をさらに進めていきたいと思っている。」との話があった。

最後に中村直輝中広地域包括支援センター長の閉会挨拶により終了となった。

令和5年6月14日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が可決・成立した。その第一条に、「認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会(=共生社会)の実現を推進することを目的とする」とある。

医療と介護の多職種連携研修会が、共生社会の実現につながっていくよう我々歯科医師も積極的に参加することの重要性を痛感した。

西区支部からは、平尾慶太支部長、角田達彦氏、宮脇博正氏、八谷文貴氏の4名が参加した。



第2回 広島市西区災害対策委員会

日時：8月23日(水)午後7時15分

場所：西区地域福祉センター 3階「大会議室」

標記の会が井上寛己西区医師会副会長の司会のもと開催された。

平林一郎西区医師会会長による開会挨拶の後、報告事項があった。

1.委員の自己紹介

2.行政より令和5年度西区防災訓練の情報提供があった。

地域防災力の向上と市民の防災意識の高揚を図るとともに、防災関係団体間の連携を強化し、地域と行政が一体となった「災害に強いまちづくり」を推進するため、訓練及び防災啓発イベント(防災フェア)を実施する。①西区防災訓練・南観音学区防災訓練 日時：令和5年11月12日(日)9時～12時 場所：南観音小学校体育館及びグラウンド ②井口台学区防災訓練 日時：令和5年12月3日(日)9時～12時 場所：井口台小学校体育館及びグラウンド

3.令和4年度災害対策医療研修会について 令和4年9月15日(木)に楠真二県立広島病院災害救急センター長と桂藤和司災害特別支援センター災害対策推進担当を講師に「EMIS 講習会」を行った。参加者は27名(会場参加：8名、Web参加：19名)。EMISとは広域災害救急医療情報システム(Emergency Medical Information

System)のこと。災害時の情報伝達手段として、メルポコや電話、Faxなどでの伝達では医療資源のアンバランスに対してスピーディーな対応が困難となる。EMISはスマートフォンやタブレットを使ってスピーディーに対応ができる。

4.令和5年度災害対策小委員会について 令和5年6月20日(火)にWeb開催でMCA無線による防災訓練を行った。

5.メルポコ訓練報告 令和5年7月26日に実施した。続いて、協議事項に移った。

1.メルポコサービスは来年3月31日でサービス終了となるのでメルポコ訓練も中止になること。

2.令和5年度西区災害対策医療研修会について 演題(仮)として「広島市西区における土砂災害の危険性と防災のためになすべきこと。～なぜ2018年の西日本豪雨の際には起きなかった土石流が2020年や2021年に起きたのか?～」とあるが“医療”の文言を入れてもらうようにすること。

最後に、井上副会長の閉会の辞により終了となった。

西区支部からは平尾慶太支部長が出席した。

ちょっとイイ話

総務部



耳寄り情報

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

- ・CAD/CAM冠やインレー等の脱離再セットでのカルテ記載において内面処理加算の内容が記載されていないものが散見されました。具体的には内面処理加算(サンドブラスト、セラミックプライマー)等の記載が必要となります。サンドブラスト、セラミックプライマーは、休日診療においてもご用意しておりますのでお使いいただけたら幸いです。
- ・補綴物の脱離軟象除去再セットのケースでう蝕処置の算定がなされていないケースがありました。



大井手和久理事

漏洩ゼロをめざすラバーダム防湿パーフェクトテクニックを読んで

今回私は普段の診療の質をより良いものとしたく、表題の本を読みとても参考になりましたのでご紹介させていただきます。

そもそもこの本を購入した経緯ですが、以前はラバーダム防湿に対しメリットに関しては十分理解していながらも、手技に対する苦手意識や限られた診療時間内で行うことの時間的なリスクなどから、恥ずかしながらラバーダム防湿が必要な症例全てに行うことはなく(むしろしないことの方が多かったです)、綺麗なままの器具が埃被ることもありました。

その器具を横目に本当は防湿行った方がよいなぁと引っかかることが多くなり、今一度初歩的なことから勉強(できれば楽に)してみようと思いこの本を買って読んでみました。

結論から言うと、私を感じる苦手意識や懸念事項についてほぼ全て解決できました。

構成としては、

- ①ラバーダム防湿を導入するメリット
- ②患者に不安を感じさせず理解を促す説明法(患者との実際の会話例が載っています)
- ③ラバーダム防湿に必要な器材
- ④単独歯や多数歯などそれぞれの症例に対してのやり方
- ⑤特殊なケースへの対応の仕方

となっています。

それぞれのパートでは写真やイラストが多く、理解しやすい内容となっています。

また読んで特に良かったと思ったことは、筆者が厳選した必要最小限の器具機材を紹介しており、最小限の費用で無駄なくラバーダム防湿を導入できるようになっていました。

さらに付録にラバーダムで症例毎に開ける穴の位置が載ってあるテンプレートが入っていましたので、スタッフに予め穴を開けてもらっておけばよりスムーズに治療に入ることができました。

「漏洩ゼロをめざすラバーダム防湿パーフェクトテクニック」辻本真規著、150頁、定価本体6,300円+税、インターアクション出版



楠橋由規委員

スポーツ観戦のすゝめ

お盆も終わりましたが、まだまだ暑い日々が続いていますね。(執筆時 8/21)

夏の高校野球やプロ野球のペナントレースも佳境に差し掛かり、ますます楽しみです。

広島には野球だけでなくバスケット、バレー、サッカー、ハンドボールなど多くのプロスポーツチームがあり、1年を通して色々楽しめるまさにスポーツ王国だと思います。

この夏、サンフレッチェ広島 vs 横浜FCの観戦チケットを縁あって入手できたので観戦してきました。私の人生初サッカー観戦ということもあり、今回感想をしたためました。サッカーについては全くの寡聞ですので、ファンの先生方は乱筆ご容赦ください...

現在のJリーグは1年を通じ34節(試合)あります。サンフレッチェ広島は、1992年に建設されたエディオンスタジアム広島(旧広島ビッグアーチ)をホームグラウンドとしたチームです。

18時キックオフなので17時前に現地へ向かったのですが、アストラムライン広域公園前駅からスタジアムへ続く坂道には多くのファンが紫のユニフォームを身にまとった姿がありました。スタジアムに到着するとスタジアムグルメのお店が多数出店(土日祝日の試合のみ)しており、この日はスポット的に広島の名店、ビールスタンド重富さんが参加しており試合前から食も楽しめる会場となっていました。



柄慎太郎委員

いざ試合が始まると目を離す間もないくらいの攻防が繰り広げられ、0対0と手に汗を握る展開でしたが、試合終盤に痛恨の先制点を許してしまいました。ここまでか...と諦めモードの中、アディショナルタイムに劇的同点ゴール!! 最後まで両チームサポーターの熱いチャントが響きわたり、90分タイムアップを迎えました。試合の臨場感や熱気を味わうことができ、是非再訪したいです。

そしていよいよ来年2024年に新たなサッカースタジアムが完成します。その名も『エディオンピースウィング広島』!! 現在のスタジアムも長らく愛されてきましたが、構造上の問題や交通の利便性の点から2000年代前半から広島市中心部におけるサッカースタジアム建設構想が持ち上がっていたそうです。2022年から中央公園跡地にて着工していましたが、来年無事竣工となります。広島の新たな名所として今から楽しみです。来年はエディオンスタジアムでのサッカー観戦が実現できるように準備中です!



試合前のスタジアム風景

広島には多くのプロスポーツチームが活躍しています。選手たちの熱い戦いやハイレベルなプレイ、一瞬一瞬の緊張感と興奮は現場でしか味わえない醍醐味です。感染対策は引き続き行いながらも、スポーツ観戦の一体感や盛り上がりこれから迎える秋の行楽シーズンに皆様もいかがでしょうか。

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください!

地域歯科保健部

～ハハ姉妹の学校ニュース《5時間目》「カミング30 (歯・が・い～・ぜ)」～

デジタル版《5時間目》
広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

カミング30 (歯・が・い～・ぜ)

前回のお話の続きです。よくかむことには8つの良いことがあるとして作られた標語「ひみこの歯がよいぜ」の後半の4つ、「は、が、い、ぜ」について見てみましょう。

は 歯の病気をふせぐ

よくかんで食べると、唾液(つば)がたくさん出ます。唾液はばい菌を増やさないようにしてくれるので、虫歯や歯周病を防ぎます。

が がんをふせぐ

唾液の成分の中には食品中のがんを引き起こす成分を抑える働きがあります。

い 胃腸快調

よくかんで飲み込むことによって、胃腸の負担が少なくなり、消化を助けます。

ぜ 全力投球

力を入れたい時、歯を食いしばることで力が出ます。

ご飯をよく噛んで食べて元気に過ごしましょう!

歯医者さんからのメッセージ

お口の中が健康になることで、体も元気になりますので、歯磨きをしっかりと、お口の中を守りましょう。

森川英彦先生

8020

80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変ください。

※今回は地域歯科保健部森川英彦先生他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDFは下記URLまたはQRコードよりダウンロードください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より ―こんな医療トラブルが起きています―

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：治療後の急性発作について

根管治療後原因不明の腫脹が生じた。総合病院の歯科を受診したところ根管治療によるものであり手術が必要と言われた。治療費を根管治療の担当医に負担してもらいたい。

(センターの対応)

金銭的な問題は法律相談と考えるので医療・介護ADRを紹介した。

(コメント)

根管治療に限らず治療には偶発症が発生する可能性があるため、治療前に予測される偶発症を伝えるとともに発生時の対応について事前に伝えておきましょう。

事例2：治療後の麻痺について

智歯の治療後に麻痺が生じた。担当医からは経過観察を勧められた。セカンドオピニオン先が担当医に術前のレントゲンを見せて欲しいと伝えましたが拒否された。今後について不安がある。

(センターの対応)

施術院の患者相談窓口に相談するよう助言した。

(コメント)

起きてしまった偶発症に対して真摯に対応しましょう。



地域歯科保健部

令和5年度 広島市要保護児童対策地域協議会代表者会議

日時：7月27日(木)午後2時

場所：広島市心身障害者福祉センター 2階「会議室」

要保護児童対策地域協議会(要対協)は児童福祉法による法定協議会で、保健、医療、教育などの関係機関で構成され、要保護児童若しくは要支援児童及びその保護者又は特定妊婦に係わる情報の交換や支援の内容を協議する組織である。広島市では平成20年7月に設置されており、広島市歯科医療福祉対策協議会もそのメンバーとして名を連ねている。

本会議は、広島市要保護児童対策地域協議会設置運営要綱に基づき、支援対象児童等への適切な支援を図るために、関係機関が情報共有し、今後の支援について協議を行うことを目的とするものである。冒頭、森川伸江広島市子ども未来局局長より開会の挨拶が行われ、続いて、力善安希乃企画運営担当課長と松島智子初期対応担当課

長より、令和4年度の広島市児童相談所における児童虐待相談・通告及び相談対応の状況について報告があった。

昨年度の相談・通告件数は2,594件と過去最多であった。相談・通告の経路は、警察が1,003件(38.7%)と最も多く、次いで学校等が473件(18.2%)、近隣・知人が340件(13.1%)の順となっており、この3つで全体の7割を占めている。主な虐待者とされている者は実母が多かったが、平成25年度以降は令和3年度までは実父の方が多くなっていた。

最後に関係機関の概要や取組の紹介があり、歯科医師会の取組として本会の細原賢一理事が、県歯会が実施している一時保護児童への歯科健診事業などを報告した。

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

歯が生えてくる薬、日本で来年臨床スタート！

<https://news.yahoo.co.jp/articles/009e9c4682fc1bd91ded4ff80cb6b51917b27fc9>



大阪の公益社団法人田附興風会医学研究所北野病院が、歯の再生治療薬を開発した。来年7月から治験を開始し、うまく歯が再生できれば、2030年に認可を取って実用化するのが目標とのこと。歯の再生治療薬は世界初ということで、海外でも注目されている。

研究班は第3の歯の成長を抑えている因子を特定し(タンパク質「USAG-1」とほかのタンパク質との相互作用。USAG-1を生む遺伝子がないマウスは歯が余分に生えてくる)、これをブロックして副作用も出ない抗体を発見した。

現在治験で募集しているのは、「先天性無歯症」の患

者のみとのこと。

考察

歯の再生に関する研究は、以前より様々行われていますが、人で治験を行うのはおそらく初めてではないでしょうか。まずは先天性無歯症の患者さんのみを対象としているとのことですが、治験でよい結果ができれば、近い将来通常の永久歯を失った患者さんに治療の第一選択肢として提示することができるようになるかもしれません。まだ再生に要する時間など様々な問題があると思いますが、まずは今回の治験がうまくいくことを期待したいです。



柄博紀委員

アルツハイマー病新薬 “使用を認める” 厚生省専門家部会

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230821/k10014169151000.html>



日本とアメリカの製薬会社が共同で開発したアルツハイマー病の新薬について厚生労働省の専門家部会は、使用を認めることを了承しました。

アルツハイマー病の原因物質に直接働きかけ取り除くための薬が了承されるのは初めてで、今後、厚生労働省による承認を経て、国内で製造・販売できるようになります。

考察

今回の新薬「レカネマブ」は、病気の初期段階に投与しなければ効果がないため、患者は記憶に問題が生じた最初期に医療機関を受診する必要があり、また副作用や治療費など、使用にあたってのハードルはまだ高いと考えられる。

しかし、現在アルツハイマー病の患者には症状を管理するための薬はあっても、病気の進行を変えるものはないが、この薬にはアルツハイマー型認知症による脳の破壊を遅らせる効果があり、専門家から「重大」で「歴史的な」出来事だと評価されている。歯周炎や歯の欠損で歯科受診した60歳以上の患者を対象に行なった調査で、歯数が少ない人ほどアルツハイマー型認知症のリスクが高いことが明らかになっており、また、歯磨き自立度や義歯管理能力が認知症の重症化により優位に低下することからも、我々歯科医師にとっても認知症は大きな問題の一つと考えられるため、さらに研究が進み、ある程度進行した認知症にも効果があるような薬が開発される事を願っている。



小林裕子副委員長

アセトアミノフェンを含有する製剤（医療用）の「使用上の注意」の改訂について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000204124_00007.html



厚生労働省医薬品等安全対策部会安全対策調査会はアセトアミノフェン(カロナール®)を含有する製剤の「使用上の注意」を改訂することを発表した。これまでの禁忌項目7つのうち5つを調査し、禁忌の項から削除することになった。「重篤な肝障害の

ある患者」「本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者」がこれまで通り禁忌となる。実臨床で、どうしても使用しなければいけないケースでも、禁忌事項が適切な薬物治療の妨げになっていることが、今回の禁忌事項解除の理由の一つだという。

ただし、対象となる医薬品が多数存在するため、情報を整理した上で「使用上の注意」の改訂の可否や具体的な添付文書改訂案については、改めて改訂案の審議を行う方針であるようだ。

考察

アセトアミノフェン(カロナール®)は医薬品としての歴史は古く、日常臨床で我々もよく使用する薬剤であり、今回の大幅な禁忌項目を削除する方針には驚きました。実際、日常臨床では基礎疾患があっても投薬せざるを得

ないケースは多々あり、私も恐る恐る処方しているのが現実です。今後も様々な薬剤で禁忌事項の見直しが行われ、投薬のハードルが下がれば自信をもって投薬ができるかもしれないですが、一方で安易な投薬による副作用も懸念されます。薬剤についての知識を今一度整理するよいきっかけになる記事になればと思います。



永井亮委員

今後正式認定される予定である 4 領域について言及 日本歯科専門医機構

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2803>

日本歯科専門医機構は、新たな歯科専門領域が創設されたことを契機に、歯科の専門性のあり方と活動状況、ならびに今後の展望について記者会見を行った。今後、歯科専門医として正式認定される予定である歯科保存・矯正・インプラント・総合歯科(すべて仮称)の 4 領域についても言及した。日本歯科専門医機構は、今後の展望として新たな歯科口腔医療の創設を目指すことを明示した。

考察

現在、既存の広告可能な口腔外科専門医、歯周病専門医、歯科麻酔専門医、小児歯科専門医、歯科放射線専門医も日本歯科専門医機構による認定を受けており、「機構認定専門医」として広告が可能だ。そして 5 月 24 日には、日本補綴歯科学会と日本顎咬合学会が連携して運用する日本補綴歯科専門医制度が新たに正式認定されました。今後、正式認定される予定の以下の 4 領域については、それぞれ連携する学会と機構で正式認定に向け



た協議が進んでいます。

- ・歯科保存専門医(仮称)連携学会：日本歯科保存学会、日本歯内療法学会
- ・矯正歯科専門医(仮称)連携学会：日本矯正歯科学会
- ・インプラント歯科専門医(仮称)連携学会：日本口腔インプラント学会、日本顎顔面インプラント学会
- ・総合歯科専門医(仮称)連携学会：日本障害者歯科学会、日本有病者歯科学会、日本老年歯科医学会

各歯科専門医の正式認定の時期に関しては、専門領域の制度案(申請書類)が整理され次第、機構の「専門医制度整備委員会」・「専門医申請学会評価認定委員会」への正式な審査を諮問する予定だそうです。

日本歯科専門医機構の認証を受けた専門医は、よりその専門性を生かして、地域歯科医療の維持・発展に貢献することも求められていくことでしょう。



三保浩一郎委員長

20 本以上の歯がある人 80 歳で 51.6% 増加傾向

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230702/k10014115731000.html>

入れ歯がなくてもほとんどのものを食べられる目安とされる、20 本以上の歯がある人の割合は 80 歳では推計で 51.6%となった。調査は 2022 年に調査され、その割合は 75 歳から 79 歳では 55.8%、80 歳から 84 歳では 45.6%だった。これをもとに 80 歳を推計すると 51.6%となり、2016 年の前回の調査より 0.04 ポイント増加していた。また、過去 1 年間に歯科健診を受診した人の割合は 58.0%で、特に 30 代から 40 代の男性の受診率が低い傾向だった。厚生労働省は「すべての年代を対象に歯科健診の受診率の向上に向けた取り組みを進めたい」としている。

考察



8020 運動は 1989 年に歯科医師会、厚労省(当時)が推進した運動であり、開始当時 8020 を達成している割合は 10%に満たない状況だった。この 30 年で 40%以上割合を伸ばした要因として、1 日 3 回のブラッシングやフロス・歯間ブラシの使用、定期健診が増えたことが要因とされている。しかし 2016 年からの増加割合は 0.04 ポイントと横ばいであり、30 代から 40 代の男性の受診率が低い傾向を鑑みたときに国民全体の皆歯科健診の実現は必須と考えられる。8020 の割合がさらに増え、歯の健康が全身の健康寿命を延ばすことがさらに裏付けられること願っている。



小島将督理事

【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



7月5日放送分

「乳幼児期の歯と口の健康」

広島市歯科医師会 林内優樹氏

<https://youtu.be/BPIDvngBjKo>



7月19日放送分

「歯がしみる原因」

広島市歯科医師会 松岡祐一氏

<https://youtu.be/2kFShPmfLMO>



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

9月6日放送分

「健康増進に役立てたい歯科医師会の事業」

広島市歯科医師会 瓜生賢氏



広島市歯科医師会という組織とはどのようなものなのか、普段どんな活動をしているのか、市民のみなさんの健康にどのように関わっているのかについてお話しします。

9月20日放送分

「お口のお悩み相談」

広島市歯科医師会 森本慎樹氏



お口のお悩み事はありませんか。「顎の関節が痛く、大きく口を開けることができません。このような場合の医院選びを教えてください」や「定期検診のベストな頻度をお教えてください。」など、番組まで相談を寄せてください。広島市歯科医師会の専務理事で歯科医師の森本慎樹さんがリスナーから届いた「お口のお悩み相談」に回答します。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。

広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

8月2日配信 市民公開講座(有料)のご案内 「暮らしの中の看取り準備講座その食形態は対象者の口に合っていますか？」

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

先月の夏の甲子園、テレビに齧(かじ)り付いていた方も多かったのではないのでしょうか。私はちょっとバタバタしていて気づいたら終わってた・・・なんて日も多かったのですが、決勝戦だけは診療の合間にちょこちょこ観ておりました。優勝した慶應義塾高校は第2回大会以来、107年ぶりの優勝だったとか。第2回全国中等学校優勝野球大会(当時はまだ旧制中学の時代です)が開催されたのは大正5年。この時はまだ甲子園球場はありませんでしたので、豊中グラウンドでの開催だったそうです。ちなみに、広島市歯科医師会設立は慶應初優勝の2年後、大正7年です。そう思うと、ゲームセット時にアナウンサーが「慶應が世紀を超えて優勝を手に入れました」と言っていた通り、高校野球にも本会にも、長い歴史があるのだなぁと改めて感じました。

今回の大会では慶應の選手が丸坊主ではないことが随分注目されていましたが、私が一番印象に残ったのは、決勝戦で慶應・仙台育英ともに選手がみんな終始笑顔だったことです。チャンスにはもちろ

ん、ヒットを打たれたりエラーをしたりしてピンチを迎えても、両校ともみんな終始笑顔。特に慶應のエース小宅くんはずっと笑顔でした。マウンド上であんなに笑顔を絶やさない選手をほかに知りません。そして負けた仙台育英の選手たちも、涙はあっても最後は笑顔で勝者慶應を讃えていた姿には感動しました。

私のような昭和スポ根時代に少年期を過ごした者からすると、あの笑顔には本当に感心させられましたし、時代の違いを感じました。昭和の時代は真剣勝負時にニヤニヤするなどありえない話。かつてサッカー日本代表だった城彰二氏がフランスW杯の試合中、ガムを噛んだり口角を上げたりしてリラックスに努めていたところ、活躍できなかったこともあって帰国時に空港で態度が悪い！やる気が無い！と怒ったサポーターから液体をかけられるような事件まで起こっていました。それが平成中期以降、スポーツ選手は競技を問わず、大きな試合の前のインタビューでは「大舞台をしっかりと楽しみたいと思います」という感じのコメン

会長コラム (第3回)

笑門來福 笑顔

瓜生 賢

トをする人が増え、その頃から世界で通用する選手が増えてきたように感じます。

部活の時は歯を食いしばって水も飲まず、休憩も取らず、ひたすら身体をいじめ抜いていた昭和の根性論とは対局にある、慶應のエンジョイベースボール。高校野球界のみならず、スポーツ界全体に大きな影響を与えた優勝になったと思います。

そして、その笑顔を支えているもののひとつは古くから「明眸皓齒」(めいぼうこうし)と言われるように、美しい歯であることは言うまでもありません。我々は笑顔を支える仕事をしています。そう思って、我々も笑顔で、そして真摯に日々患者さんと接していきたい、そんなことを考えさせられた第105回全国高等学校野球選手権大会決勝でありました。

会員ひろば

新入会員紹介

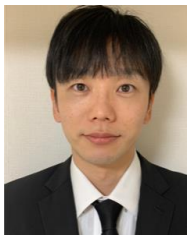


井口早織

広島市歯科医師会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました、井口早織と申します。

私は、岡山大学を卒業後、広島の歯科医院で勤務して結婚して、福岡に移り、福岡市内でも勤務医として働いていました。2002年に、主人が、いのくち小児歯科を広島市西区で開業し、私も子育てで一時休んでいましたが、いのくち歯科小児歯科と変更し、一緒に働いてました。今年1月に、主人が亡くなったので、私が引き継ぎました。微力ではありますが地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。

入会に際しまして、多くの先生方にご指導、ご助言をいただき心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



河村道彦

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました河村道彦と申します。

私は広島市で生まれ修道高校卒業後、九州歯科大学歯学部に進学いたしました。福岡県の開業医に勤務後、九州歯科大学大学院に進学し、臨床と研究に励みました。卒後は広島市内で勤務しておりましたが、この度様々なご縁があり橋本歯科クリニックを継承し、2023年7月に中区八丁堀にて「八丁堀かわむら歯科」を開院させていただくことになりました。地域の患者様の健康に貢献できるように、精進してまいります。

入会に際し、多くの先生方にご指導・ご助言をいただき深く感謝しております。この場をお借りし心より御礼申し上げます。まだまだ未熟者ですが、今後精一杯歯科医師会の発展のために努力する所存です。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



前野大輔

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました前野大輔と申します。

私は2001年に愛知学院大学歯学部を卒業し、同大学附属病院にて臨床研修を行いました。その後補綴学第一講座に入局し、クラウンブリッジや義歯について4年間学ばせていただきました。2005年に広島に戻り、勤務医を経て、2010年4月より中区堺町にあります前野歯科医院にて父とともに診療し現在に至ります。

地域の皆様に信頼される医療を目指して、少しでも社会に貢献できるよう日々努めて参りたいと思っております。

入会に際しましては、父の急逝により突然のお願いだったにもかかわらず、多くの先生方にご尽力いただき感謝しております。まだまだ至らない点も多く、先生方にご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



川合晶子

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました川合晶子と申します。

私は、平成10年に広島大学を卒業後、広島大学歯学部矯正科に在籍し、日本矯正歯科学会認定医を取得した後、平成16年より中区千田町の関野歯科クリニックにて父の関野憲三とともに、矯正歯科を中心に従事して参りました。

関野歯科クリニックの移転に伴い、令和5年10月より父から医院承継することとなりました。今後は父から一般歯科治療を学びながら、地域の歯科治療に貢献できるよう精進して参ります。末筆ではございますが、歯科医師会入会に際し、近隣の先生方をはじめ、諸先生方にご指導いただきまして、誠にありがとうございました。まだまだ未熟者で先生方にはご迷惑をおかけすることと思っておりますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

8月定例理事会報告

「部外報告」

- 7月27日 広島大学病院挨拶
(谷本学部長・二川教授)
" 広島市要保護児童対策地域協議会代表
者会議
7月29日 国保組合会・互助会総代会
8月1日 広島市障害者施策推進協議会
8月3日 第63回広島市学校保健大会
(第60回よい歯のつどい)
" (県歯) 会員サポート室会議
" (県歯) 理事会
" 社会保険診療報酬支払基金再審査
8月4日 広島市歯科医療福祉対策協議会会計監査
8月8日 広島東照宮挨拶来館
8月10日 【Web】広島市医療安全推進協議会
8月17日 国保組合理事会
8月18日 広島県国保連合会歯科再審査部会
8月19- 広島県国保連合会歯科審査部会
23日
8月22- 社会保険診療報酬支払基金審査
27日

(連盟関係)

- 8月22日 ゆぎき知事を囲む県政懇談勉強会

「総務関係」

- 8月2日 広島市歯科医師会 各部総合委員会
8月6日 広島市歯科医師会 原爆死没者慰霊祭
8月8日 第3回支部長・副支部長会
8月12日 B型肝炎第1回ワクチン接種
8月17日 保険講習会(1回目)
8月21日 三役会
8月23日 定例理事会

(慶弔関係)

- 8月15日 東区支部 竹本美保先生ご尊父様ご逝去

(入会退会関係)

(県歯理事会関係)

- 8月3日 (県歯) 理事会

(1) 総務部 (大井手理事)

- 8月1日 休診レセプト点検
8月2日 広島市歯科医師会 各部総合委員会
8月6日 広島市歯科医師会 原爆死没者慰霊祭
8月9日 (県歯) 医療管理部常任委員会
8月10日 【Web】広島市医療安全推進協議会

(2) 学術部 (花岡理事)

- 8月2日 広島市歯科医師会 各部総合委員会
8月6日 広島市歯科医師会 原爆死没者慰霊祭

(3) 厚生部 (谷理事)

- 8月1日 厚生部委員会
8月2日 広島市歯科医師会 各部総合委員会
8月3日 第63回広島市学校保健大会

(第60回よい歯のつどい)

- 8月6日 広島市歯科医師会 原爆死没者慰霊祭
8月9日 (県歯) 福祉厚生・育成部常任委員会

(4) 地域歯科保健部

- 8月2日 広島市歯科医師会 各部総合委員会
8月6日 広島市歯科医師会 原爆死没者慰霊祭
8月18日 定例委員会

<地域保健> (土屋理事)

- 8月1日 広島市障害者施策推進協議会

<地域連携> (藤田理事)

- 8月18日 令和5年度広島市在宅医療・介護連携
推進委員会第1回「摂食嚥下・口腔ケ
ア対応力向上に向けた多職種連携の体
制づくりの検討」専門委員会

<学校保健> (細原理事)

- 7月27日 広島市要保護児童対策地域協議会代表
者会議
8月3日 第63回広島市学校保健大会
(第60回よい歯のつどい)

(5) 広報部 (小島理事)

- 8月1日 校正委員会(だより8月号)
8月2日 広島市歯科医師会 各部総合委員会
8月6日 広島市歯科医師会 原爆死没者慰霊祭
8月9日 FMちゅーピー収録

FMちゅーピー (放送日)

- 9月6日 「健康増進に役立てたい歯科医師会の事業」
広島市歯科医師会 瓜生 賢氏
9月20日 「お口のお悩み相談」
広島市歯科医師会 森本 慎樹氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,471 (累計 128,275)
ページビュー 9,231 (累計 1,522,060)
会員サイト 訪問者 201 (累計 30,026)
ページビュー 800 (累計 289,910)
LINE 公式アカウント 登録者数8月18日 132名

(7) 特別委員会

- 8月23日 新興感染症対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

- 8月18日 相談 保険適用の矯正歯科治療につ
いて(会員)

「協議事項」

- (1) 入会について (3名)
中区支部の野村純平氏、岡田信輔氏、東区支部の浅野真弥氏の入会について承認。
- (2) 会費について (2名)
終身会員診療状況変更による会費額変更について1名承認、終身会員資格取得による会費額変更について1名承認。
- (3) クリスマスパティーについて
協議、継続審議
- (4) 新年互礼会について
協議、継続審議

- (5) 令和5年度広島市歯科医師会第1回学術講演会について
協議、継続審議
- (6) 三師会協議懇談会について
参加者選出
- (7) 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会・総会について
協議内容確認
- (8) その他
特になし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: kojima.d.c@icloud.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

